

今の僕には関係ない

夕食後、マンガを見て、
そのままにাগり、
時間割りを合わす。

予習することもないし、
その気にもなれなかった。

今年は 勉強するぞと
年頭に決心したが、京太の言葉で揺れてきた。
机に座って、僕はぼーとしている。
自分は 一体、何をしたいのか。

僕の夢は 一体 何なのだろう。

「恋は 年を 取りゃできぬ。」
その言葉が 脳裏で 響く。

馬鹿な、おふざけの歌やけど
僕は 真実を突いてるように 感じた。

これから、僕は 山を登ろうとしているが、
本当は、「今が花」なのか なあ。

お母ちゃんや、お父ちゃんが よく、
「若い子は ええなあ。」と言う。
そんなに ええもんかな。
年 取ると 皆 そう 思うように なるのかな
そんなの さびいしわ、悲しいわ。
僕は、過去を 振り返りたくない。